

報告書の表示	検査項目名	基準範囲	単位	検査の目的や内容	
尿検査	混濁	尿の混濁	なし	膀胱や尿道など、尿の通り道で炎症や出血が起きていないか、腎臓の働きが悪くなっていないかを調べます。	
	色調	尿の色調	淡黄色		
	Pro定性	尿蛋白定性	-		
	Glu定性	尿糖定性	-		
	Uro定性	尿ウロビリノーゲン定性	±		
	Bil定性	尿ビリルビン定性	-		
	pH	尿水素イオン濃度	4.8~7.5		
	比重	尿の比重	1.008~1.034		
	ケトン体	尿中ケトン体	-		
	潜血	尿潜血	-		
その他	HbA1c	ヘモグロビンA1c	4.9~6.2	% (NGSP)	糖尿病の診断や程度の把握ができます。
	潜血OC	糞便中ヒトヘモグロビン	-		主に腸からの出血が診断できます。
	TSH	甲状腺刺激ホルモン	0.35~4.94	μ U/ml	甲状腺機能の診断に用います。
	FT4	遊離サイロキシン	0.70~1.48	ng/dl	
	FT3	遊離トリヨードサイロニン	1.68~3.67	pg/ml	
	HbSAg	HBs抗原	-		B型肝炎の感染の有無や感染の履歴を見ます。
	HbSAb	HBs抗体	-		
	HCV2判定	HCV判定	-		C型肝炎の感染の有無を見ます。
HCVINDEX	HCVインデックス	0~0.99			

検査の手引き

ver.4



we care of your health



近大奈良病院 臨床検査部

報告書の表示	検査項目名	基準範囲	単位	検査の目的や内容
Na	ナトリウム	138～145	mmol/L	ヒトの生命を維持する為に必要なイオンのバランスを調べます。
cl	クロール	101～108	mmol/L	
K	カリウム	3.6～4.8	mmol/L	
Ca	カルシウム	8.8～10.1	mg/dl	副甲状腺や腎臓の病気など調べます。
TP	総蛋白	6.6～8.1	g/dl	栄養状態の良・不良が分かります。
ALB	アルブミン	4.1～5.1	g/dl	腸での栄養の吸収や肝臓での合成力を調べます。
T-Bil	総ビリルビン	0.4～1.5	mg/dl	黄疸の検査です。
AST	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ	13～30	U/L	肝臓やその他の臓器の検査です。
ALT	アラニンアミノトランスフェラーゼ	M: 10～42 F: 7～23	U/L	肝臓機能の診断に用います。
ALP	アルカリフォスファターゼ	43～115	U/L	肝臓・胆のう・骨の機能障害を調べます。
G-GT	γ-グルタミールトランスペプチダーゼ	M: 13～64 F: 9～32	U/L	肝臓・胆のうの機能障害を調べます。アルコールの摂取で高くなります。
ChE	コリンエステラーゼ	M: 240～486 F: 201～421	U/L	肝臓の病気の程度が分かります。特に脂肪肝の診断に有用です。
LD	乳酸脱水素酵素	129～221	U/L	肝臓・心臓の病気の程度を反映します。
CK	クレアチン・キナーゼ	M: 59～248 F: 41～153	U/L	心筋や筋肉が障害されていないかの検査です。
CRE	クレアチニン	M: 0.65～1.07 F: 0.46～0.79	mg/dl	腎臓の機能低下の程度が分かります。
UN	尿素窒素	8～20	mg/dl	腎臓の機能障害が分かります。
eGFR	推算糸球体濾過量	60以上	ml/min/1.73m ²	腎臓の機能低下の程度が分かります。
UA	尿酸	M: 3.7～7.8 F: 2.6～5.5	mg/dl	痛風などの診断に用います。
GLU	グルコース	73～109	mg/dl	糖尿病の診断に重要です。食事の後は高くなります。
Cho-T	総コレステロール	142～220	mg/dl	動脈硬化による病気の危険因子です。
TG	中性脂肪	M: 40～150 F: 30～150	mg/dl	動脈硬化による病気の危険因子です。食事の後は高くなります。
HDL-Cho	HDLコレステロール	M: 40～90 F: 40～103	mg/dl	動脈硬化などに関係する善玉コレステロールです。
LDL-Cho	LDLコレステロール	65～140	mg/dl	動脈硬化による病気の危険因子です。悪玉コレステロールと言われます。
LH比	LH比	0～1.5		LDLコレステロールとHDLコレステロールの比になります。動脈硬化になりやすいかの指標になります。
CRP	C反応性蛋白	0.00～0.14	mg/dl	炎症の程度の把握に用います。

血清検査

報告書の表示	検査項目名	基準範囲	単位	検査の目的や内容
WBC	白血球数	3.3～8.6	10 ³ /μl	感染症を含む炎症や血液疾患の診断に用いられます。
STAB	桿状核好中球	3～6	%	
SEG	分葉核好中球	45～55	%	白血球を種類別に分類したものです。
LYMPHO	リンパ球	25～45	%	
MONO	単球	4～7	%	
EOSINO	好酸球	1～5	%	
BASO	好塩基球	0～1	%	
RBC	赤血球数	M: 4.35～5.55 F: 3.86～4.92	10 ⁶ /μl	貧血の疑いや程度を調べます。
Hb	ヘモグロビン	M: 13.7～16.8 F: 11.6～14.8	g/dl	
Ht	ヘマトクリット	M: 40.7～50.1 F: 35.1～44.4	%	
MCV	平均赤血球容積	83.6～98.2	fL	貧血の種類を調べます。
MCH	平均赤血球色素量	27.5～33.2	pg	
MCHC	平均赤血球色素濃度	31.7～35.3	g/dl	
PLT	血小板数	15.8～34.8	10 ⁴ /μl	出血しやすい病気の程度を調べます。
PTsec	プロトロンビン時間	10～13	秒	血液が固まったり、溶けたりする能力を調べます。
FDP	フィブリン分解産物	0～8	μg/ml	
Dダイマー	Dダイマー	0～1	μg/ml	
FIB	フィブリノーゲン	150～340	mg/dl	
APTT	活性化部分トロンボプラスチン時間	28～40	sec	

血液検査

凝固検査

M: Male(男性)の基準範囲
F: Female(女性)の基準範囲

令和5年3月改訂

ご注意

あくまでも、一般的な目安となる事柄を取り上げております。

担当医師とよくご相談の上、ご参考になさってください。

臨床検査部